

令和5年9月教育委員会会議（定例会）会議録

1 日 時 令和5年9月22日（金）午後1時30分～2時45分

2 場 所 市役所7階 研修室

3 出席者〔教育長〕中島秀行

〔委 員〕吉本理(教育長職務代理者)、寺本彰、宮本陽子、森田理恵、
清水国明

〔事務局〕千葉裕之教育総務部長、中田利明学校教育部長、池田淳教育
総務部次長、櫻井誠学校教育部次長、糟谷苗美社会教育担当
参事兼社会教育課長、吉川誠学校教育担当参事兼学校教育課
長、中村啓教育センター担当参事兼教育センター所長、鈴木
健教育総務課長、三上佳明スポーツ振興課長、稲田里織文化
財保護課長、橋本浩志所沢図書館長、鈴木恵学校教育課主幹
兼健やか輝き支援室長、渡辺純也保健給食課長

〔書 記〕小城原光貴教育総務課副主幹、佐藤彰尚教育総務課主査

4 会議録の承認

5 会議の傍聴者 なし

6 開 会 本日の議案は、議案第15号から議案第17号の3件。

なお、議案第17号については意思決定過程の審議のため、
地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項に
基づき、非公開としたい旨の発議があり、出席委員全員が賛
成し、非公開で審議されることに決定した。

7 議題

●議案第15号 所沢市生涯学習推進センター運営協議会委員の委嘱について

資料に則り、糟谷社会教育担当参事から以下のとおり説明があった。

生涯学習推進センター運営協議会は、「所沢市生涯学習推進センター運営協議会
条例」により「センターの運営方針に関すること」「センターの事業の企画及び運
営に関すること」について協議を行うために設置されている。委員は、「生涯学習
に関し知識経験を有する者のうちから教育委員会が委嘱する」もので、任期は2年

と定められており、令和5年9月末日で現在の委員が任期満了となることから、ここで新たな委員の委嘱について諮るものである。

なお、生涯学習推進センターでは、生涯学習推進センター所管の「人材育成」、文化財保護課所管の「ふるさと研究」、学校教育課所管の「教育臨床研究」の大きく3分野の活動が展開されており、それぞれに関係した知識・経験を有する方々に、委員をお願いしているところである。現在の委員は6名で、大学教授、教員経験者、市民団体の代表、文化財保護委員等で構成されている。新たな委員の候補者は、6名となり、再任が4名、新任が2名である。

質疑なし

※中島教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

●議案第16号 令和6年度当初所沢市立小・中学校教職員人事異動の方針について

資料に則り、吉川学校教育担当参事から以下のとおり説明があった。

教職員の人事異動については、毎年、埼玉県が「教職員人事異動方針」及び「市町村立小・中学校等教職員人事異動方針細部事項」を定め、それに基づき、県内教育界の活性化や、職務経験を豊かにすることによる人材育成等を期して人事が進められている。また、それに伴い、所沢市においても「所沢市立小・中学校教職員人事異動の方針」及び「所沢市立小・中学校教職員人事異動方針細部事項」を定め、本市教育の充実・発展を期して、人事異動を進めている。

今年度の人事異動方針、細部事項について説明する。まず、埼玉県の人事異動方針についてであるが、「1 基本方針」の(6)に役職定年後の教職員およびという言葉が追記された。

次に、埼玉県の人事異動方針細部事項についてであるが、「1 基本方針関係」に(3)として役職定年後の教職員が新たに記載された。

続いて、「令和6年度当初所沢市立小・中学校教職員人事異動の方針」についてであるが、県の人事異動方針の内容を踏まえ、「1 基本方針」の(6)に役職定年後の教職員およびという言葉を追記している。

「令和6年度当初所沢市立小・中学校教職員人事異動方針細部事項」については、年月日等を今年度用に訂正したほか、県の細部事項の変更点を反映した。なお、「5

その他」(2)イの勸奨退職申出期日は、県教委の人事異動方針細部事項に基づき、令和5年12月8日を「教育長が定める期日」とする。

また、県の人事異動方針細部事項の「2 転任・転補関係」の(9)を、本年度も、本市小・中学校教職員人事異動方針細部事項の「2 転任・転補関係」の(7)として取り入れている。理由としては、現時点では、学校の新設や学区変更の予定はないが、従来より本市には通学区域の暫定区域がある。暫定区域のある学校では、在籍児童生徒数が変わる可能性がある。在籍児童生徒数の増減は、学級数の増減につながる場合があり、教職員数に関わることとなるからである。

以下質疑

(吉本委員)

新しく追記された役職定年法の教職員についてですが、再任用職員とどのような違いがありますか。

(櫻井学校教育部長)

教頭、校長は60歳を迎えるとその役職から外れることとなります。一部、選考により再任用職員として役職を継続する場合がありますが、基本的には教諭または主幹教諭へ降任となります。

(寺本委員)

給与体系は変わらないのですか。

(櫻井学校教育部長)

校長職の7割程度となります。

(寺本委員)

一般の教諭が再任用となっても同様ですか。

(櫻井学校教育部長)

そのとおりです。

※中島教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

8 報告事項

○所沢市教育委員会後援等名義使用許可について(教育総務課)

○所沢市教育委員会の9月から12月までの主な行事予定について(教育総務課)

○生涯学習推進センター及び公民館での夏休み自習室の結果について(社会教育課)

- 令和5年度図書館要覧について（所沢図書館）
- 所沢市立所沢図書館に関する市民アンケート調査について（所沢図書館）
- 北野市民プールの終了について（スポーツ振興課）
- 佐藤拳太郎氏への特別顕彰について（スポーツ振興課）
- 市議会における教育委員会に関わる事案の対応について
 - ・学校体育館のエアコン設置について（教育施設課）
 - ・学校給食費無償化について（保健給食課）

以下、質疑

（寺本委員）

夏休みの自習室の利用結果について、常連の利用者が多いとのことでしたが、学習支援として三ヶ島公民館で開催した「夏休みの宿題やっつけよう大作戦！」の参加人数がかなり多く見受けられますが、当事業は三ヶ島公民館が独自で企画したものでですか。

（糟谷社会教育担当参事）

今回、生涯学習推進センターを除く各公民館で行った自習室の事業は、まちづくりセンター主催で、実施内容等は各公民館で企画したものです。三ヶ島公民館の事業につきましては、まちづくり協議会、NPO法人生活福祉ファクトリー、社会福祉協議会が共催で行ったものです。

（寺本委員）

NPO法人生活福祉ファクトリーは、三ヶ島地区を拠点として活動しているのですか。

（糟谷社会教育担当参事）

活動は三ヶ島地区に限られたものではありません。なお、今回の実施に当たり早稲田大学の学生や社会福祉協議会で夏のボランティアとして募集した学生が参加されたと聞いていますので、地域限定というものではないと考えています。

（寺本委員）

今回の取組結果について、公民館同士のミーティング等で情報共有の場を設けていますか。

（糟谷社会教育担当参事）

定期的な館長会議を行っており、今回の自習室の実施について協力をお願いし

たところ、昨年度実施は3館だったものの、今年度は8館に増やすことができました。三ヶ島まちづくりセンターでの実施については、まちづくり協議会が中心となって行ったものと思われませんが、今後、情報共有を行っていきたいと考えています。

(中島教育長)

富岡公民館の参加人数が不明というのは、カウントしていなかったということですか。

(糟谷社会教育担当参事)

特に区分を設けず、フリーに利用していただいたため、区分ごとの人数はカウントしていませんが、比較的大人の利用者が多かったという報告がありました。

(吉本委員)

事業実施についての周知方法をもう少し検討していただきたい。また、トコロんのびのび塾や学び創造アクティブPLUS等の事業と併せて実施することも検討していただきたい。特に、トコロんのびのび塾については、子どもたちの学力向上に向けたステップと考え、単にエアコンの効いた部屋があるというものにならないように検討していただきたいと考えます。

(糟谷社会教育担当参事)

まず、周知方法としてはほっとメール、LINEでの周知、各公民館での周知は地域のたよりや学校への周知等を行いました。各公民館で方法は各々であったため、もう少し統一的に行うことが検討すべき課題であると考えています。

(千葉教育総務部長)

事業としては昨年度から実施したもので、実施施設も増えたところですが、実施状況や結果を踏まえた上で、今後どのように実施していくべきかを検討していきたいと考えています。

(寺本委員)

夏休み期間だけでなく、2学期以降においても実施する予定はありますか。

(糟谷社会教育担当参事)

生涯学習推進センターは通年実施としていますが、各公民館において常設はできないにしても、冬休み期間に実施できないかという点について、今後の館長会議において検討したいと考えています。

(寺本委員)

冬休み期間以外で中間・期末テストのときにも利用があると思われませんが、いかがですか。

(糟谷社会教育担当参事)

まずは期間を限らず、常設可能かどうかという点について検討していきたいと考えますが、利用機会を増やすという点で、期間を限っても利用できるよう、各施設に働きかけていきたいと考えています。

(吉本委員)

今回の事業は社会教育課の事業ですが、学校教育課も積極的に関わっていただき、確かな学力の向上という点での予算がないとできない事業もあるので、予算確保も含め積極的に検討していただきたいと思います。

(吉川学校教育担当参事)

トコロんのびのび塾については、来年度さらに拡大、充実したものになるよう予算計上も含め進めているところです。また、学び創造アクティブPLUSについても併せて検討していきたいと考えています。

(宮本委員)

自習室の実施結果にあるWi-Fi利用の有無については、自由に利用できるかどうかという区分ですか。

(糟谷社会教育担当参事)

生涯学習推進センターにおいては、Wi-Fiを使用できる日を水曜日と木曜日に限定して開放しました。各公民館の自習室の中にはWi-Fi環境が整備されている部屋もあれば、そうではない部屋もあります。資料には、Wi-Fi利用可能の有無を示しています。

(宮本委員)

Wi-Fi利用を全面的にできるようにということではなく、単に自習室として開放した部屋でWi-Fi利用が可能かどうかを示したものであるということですか。

(糟谷社会教育担当参事)

生涯学習推進センターは社会教育課の所管ですので、Wi-Fi利用を促す形で実施しましたが、各公民館においてはWi-Fi利用を問わずに試行的に実施したものです。各館では、Wi-Fi設置の要望はそこまで多くなかったと聞い

ています。

(清水委員)

W i - F i 利用時に職員が聞かれた場合のみ教えるというのではなく、表示するということはできないのですか。

(糟谷社会教育担当参事)

現状では、事務室又はその近辺、一部の部屋でしか利用できず、全館的に利用できるという表示はできないため、W i - F i 利用可能な部屋を使用する場合には、表示するようにしています。

(清水委員)

要望があれば、W i - F i 利用可能な部屋に誘導するということはありますか。

(糟谷社会教育担当参事)

生涯学習推進センターにおいては、パソコンを設置している部屋があり、ネット環境を使用したい場合はその部屋を利用される方が多く、公民館も同様です。

(寺本委員)

仮に学校を自習室として開放する場合に、教員の配置の問題があると思いますが、例えば教員のO B ・ O G が地域にいると思うので、毎週ではなくともテスト期間だけでも協力してもらうなどの方法を検討していただきたい。

(中島教育長)

こうした取組について、コミュニティ・スクールの協議会で検討していただきたい。教育委員会から学校を支援する取組として、提案するのが一番有効な手段だと思います。予算措置のことも踏まえ、地域のマンパワーを使って、改善できる方法を検討していくべきだと考えます。

(寺本委員)

地域を起点とする発信では、難しい部分があると思いますので、やはり教育委員会の事務局内で取り次ぐことができるような役割を担ってもらえると、地域の方も協力しやすいのではと考えます。

(中島教育長)

学力向上プロジェクトの企画として含んでいくことは可能かと思しますので、今後も是非検討をお願いします。

(吉本委員)

図書館に関する市民アンケート調査の内容は、図書館協議会の委員が承認した上で作成されたものですか。

(橋本所沢図書館長)

第1回図書館協議会において案を提示し、協議会での意見を踏まえた内容となっています。

(吉本委員)

今後、図書館が建て替えとなった際に、どのような図書館にして欲しいかなどの項目を入れてみてはどうですか。単に利用に関するアンケートにならないように、本を読む環境や今後のビジョン等を含めたアンケートとしていただきたい。

(橋本所沢図書館長)

所沢図書館も築40年が経過し老朽化していることもあり、建て替えとなった際の要望や図書館に対する市民のニーズを集約できる内容となるよう、検討していきたいと考えています。

(宮本委員)

所沢図書館市民アンケートについて、小学校5年生各校1クラス、中学校2年生各校1クラスを対象とした経緯を教えてください。

(橋本所沢図書館長)

対象を絞らず全体の集計が出来れば良いと考えますが、集計上の問題から全校児童生徒を対象とするのは困難であると判断し、各校1クラスとしたものです。

(宮本委員)

現在、児童生徒にはタブレット端末が配布されており、画面上で集計できるような方法もあると思いますので、今後検討していただきたい。

(橋本所沢図書館長)

ご指摘のとおり、容易に集計する方法もあるかと考えますので、今後の実施方法について検討していきます。

(吉本委員)

後援等名義許可一覧についてですが、「キッズマネースクール」、「キッズフリマ」、「こども夢の商店街」については、どのような団体が行っている事業ですか。

(糟谷社会教育担当参事)

「キッズマネースクール」については、文部科学省の土曜学習応援団という事業に賛同する団体で、一般社団法人日本こどもの生き抜く力育成協会の活動の一つである、お金の大切さを理解してもらう体験活動を行っています。「キッズフリマ」については、子どもだけのフリーマーケットを行うもので、リサイクルの精神や金融教育を目的として活動をしています。「こども夢の商店街」については、アウトレットモールなどで、子どもに働くことを体験させるキャリア教育やその場でしか使えない通貨を使用した金融教育の活動を行っています。

(吉本委員)

全国的な活動をしている団体への後援というのは、地域的な感覚からすると所沢市の教育委員会として後援することに少し違和感があるのですが、どのように考えますか。また、参加者への周知方法については、学校を通じてチラシ配布などを行っているのですか。

(糟谷社会教育担当参事)

近年、全国展開で活動を行っている団体からの後援名義申請が多くなってきており、許可する上では要綱に照らし合わせて判断していますが、判断に苦慮するものもあります。

周知方法については、学校へのチラシ配布を行っている団体もありますが、後援名義を受けているからといって必ず配布しているとは限らず、学校毎に判断しています。

(吉本委員)

団体によっては、社会的に参加しているということのアピールと名前を売るための行為のように感じる部分もありますので、団体代表者の確認やどこに所属しているのかなどを確認した上で、現場で線引きができるようにしていただきたい。

(中島教育長)

事務局は今後検討をお願いします。

9 議題

●議案第17号 令和5年度所沢市教育功労者の表彰について【非公開】

《 削除 》

※中島教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

10 その他

今後の日程

- ・教育委員会会議10月定例会：10月27日（金）
- ・教育委員会会議11月定例会：11月17日（金）

11 閉会 午後2時45分